



第29回日本最小侵襲整形外科学会

B|BRAUN
SHARING EXPERTISE

イブニングセミナー2

日時 2023年11月3日(金) 15:40~16:40

場所 第2会場
岡山国際交流センター8F イベントホール

座長

戸川 大輔 先生

近畿大学奈良病院 臨床教授、診療部長

演者

石原 慎一 先生

SUBARU健康保険組合 太田記念病院 整形外科 部長

胸腰椎損傷に対する手術の
低侵襲化への取り組みと
新規パワードライバーを用いた
PPS挿入のメリットについて



認定単位

本セミナーは、日本整形外科学会教育研修講演として、下記いずれか1単位が取得可能です。

- 専門医資格継続単位:N(1単位) 必須分野:[7] 脊椎・脊髄疾患
- 脊椎脊髄病医資格継続単位:SS(1単位)

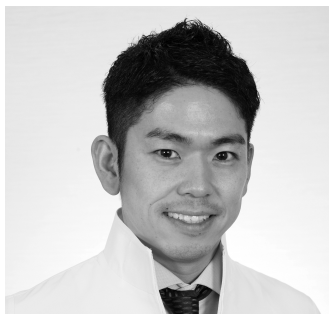
共催：第29回日本最小侵襲整形外科学会
ビー・ブラウンエースクラップ株式会社



AESCULAP
ACADEMY®

ビー・ブラウンエースクラップは、「エースクラップアカデミー」と題して医療従事者の皆さまのニーズにお応えするセミナーやワークショップを展開しています。弊社がカバーする幅広い診療領域を背景に、その分野における専門家を講師にお迎えし、様々な形でプログラムをお届けしております。

胸腰椎損傷に対する手術の低侵襲化への取り組みと 新規パワードライバーを用いたPPS挿入のメリットについて



筆頭著者: 石原 慎一先生

SUBARU健康保険組合 太田記念病院

脊椎インストゥルメンテーション手術において椎弓根スクリューの登場により手術成績が飛躍的に向上し、椎弓根スクリュー挿入は脊椎外科医にとって必須の技術となっている。スクリュー挿入方法は経皮的椎弓根スクリューの登場により、正確に、より低侵襲に挿入することが可能となったが、スクリューの挿入自体は用手的に行われているのが一般的であり、手術件数や固定範囲が多くなるとオーバーユースによる術者への負担も見逃すことはできない。整形外科領域では、外傷や人工関節手術において術者への疲労軽減のため、パワーツールが用いられるのが一般的である。脊椎手術においては安全性への懸念のためパワーツールの導入が遅れていたが、近年になって安全に使用できるパワーツールが開発された。パワーツールの使用によりオーバーユースを防ぐことができることに加えて、それ以外の優位性に関する報告も散見されるようになり、パワーツールを導入するメリットは大きいと考えている。本セミナーでは演者の使用経験を基に、新規パワードライバー使用の優位性や注意点について述べ、併せて我々が行なっている急性期胸腰椎損傷に対するPPS固定手術の固定範囲短縮への取り組みや骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術の低侵襲化への取り組みなど、自施設のデータを示しながら紹介させていただく。